

2009年度決算の概要

2010年4月28日
住友金属工業株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

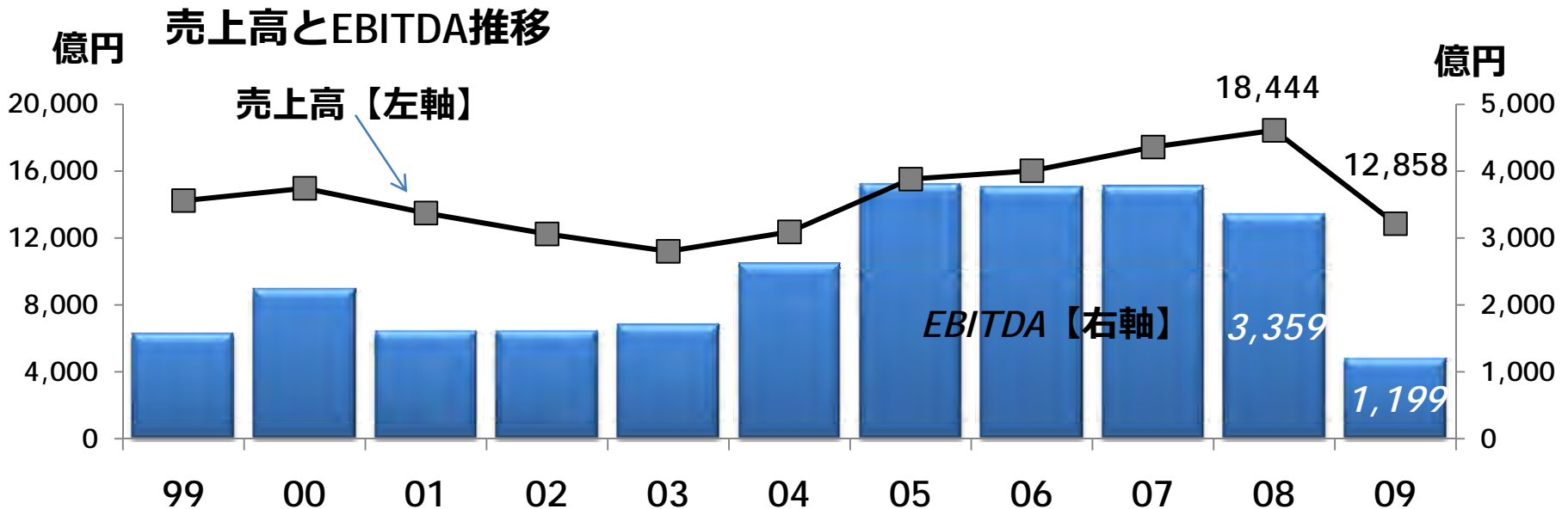
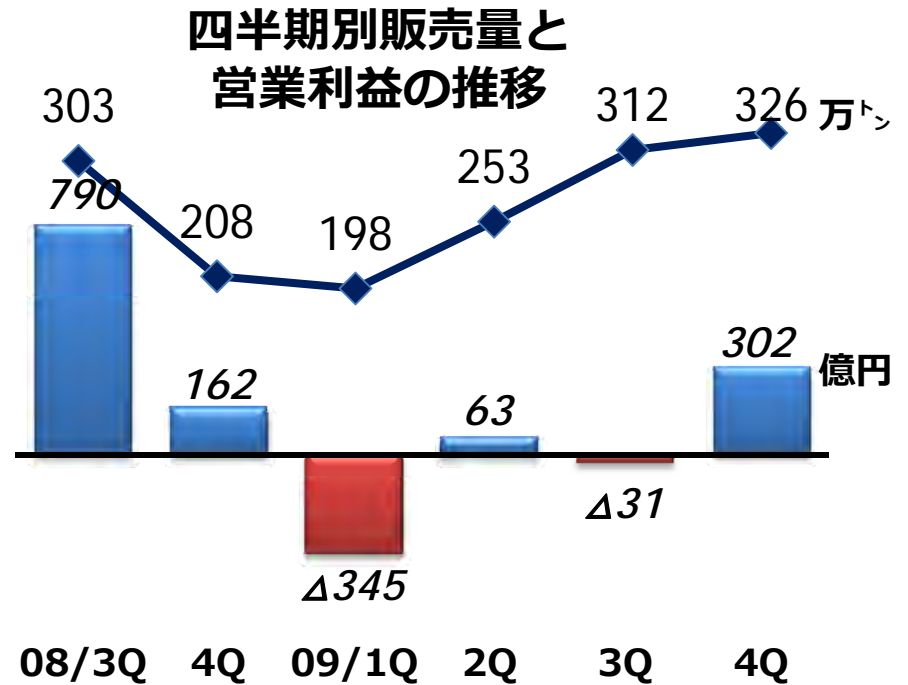
そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

なお、本資料中、「粗鋼生産量」「鋼材販売量」「鋼材平均価格」と記載しているものは、(株)住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住金鋼鉄和歌山を含んだ数値となっております。

資料中のEBITDAは、営業利益+減価償却費（有形）で算定しております。

09年度決算ハイライト

	(前期比)	
● 売上高	12,858億円	(△5,585億円)
● 営業利益	△ 9億円	(△2,269億円)
● 経常利益	△ 366億円	(△2,623億円)
● 当期利益	△ 497億円	(△1,470億円)
● EBITDA	1,199億円	(△2,160億円)



10年度見通しと経営課題

● 営業利益	900億円程度
● 経常利益	800億円程度
● 当期利益	500億円程度
● EBITDA	2,200億円程度

- 原材料価格、販売価格とも交渉途上であり今後の動向は不透明
- 10年度見通しは09/4Qの損益水準をベースに、損益改善要因・リスクを加味したもの

主原料価格の高騰と
価格決定スキームの変更
(ベンチマーク→四半期化)



- 極力透明な原料価格決定スキームを構築
- 顧客の理解を得ながら遅滞無い価格転嫁に努める。

ボラティリティの増大に
備えたバランスシート強化



- 緊急コスト削減を継続
- 国内製造基盤強化投資はピークアウト、設備投資額と償却費は、ほぼバランス

「差別化の加速」
「強いところをより強く」



- VSB（ブラジルシームレスミル）の円滑な立ち上げ（収益貢献は2011年度～）
- インド・ベトナム等 成長マーケットにおけるプロジェクトの進行
- 原子力発電所向SG管等、当社得意分野での差別化施策推進

09年度決算実績

09年度決算概要

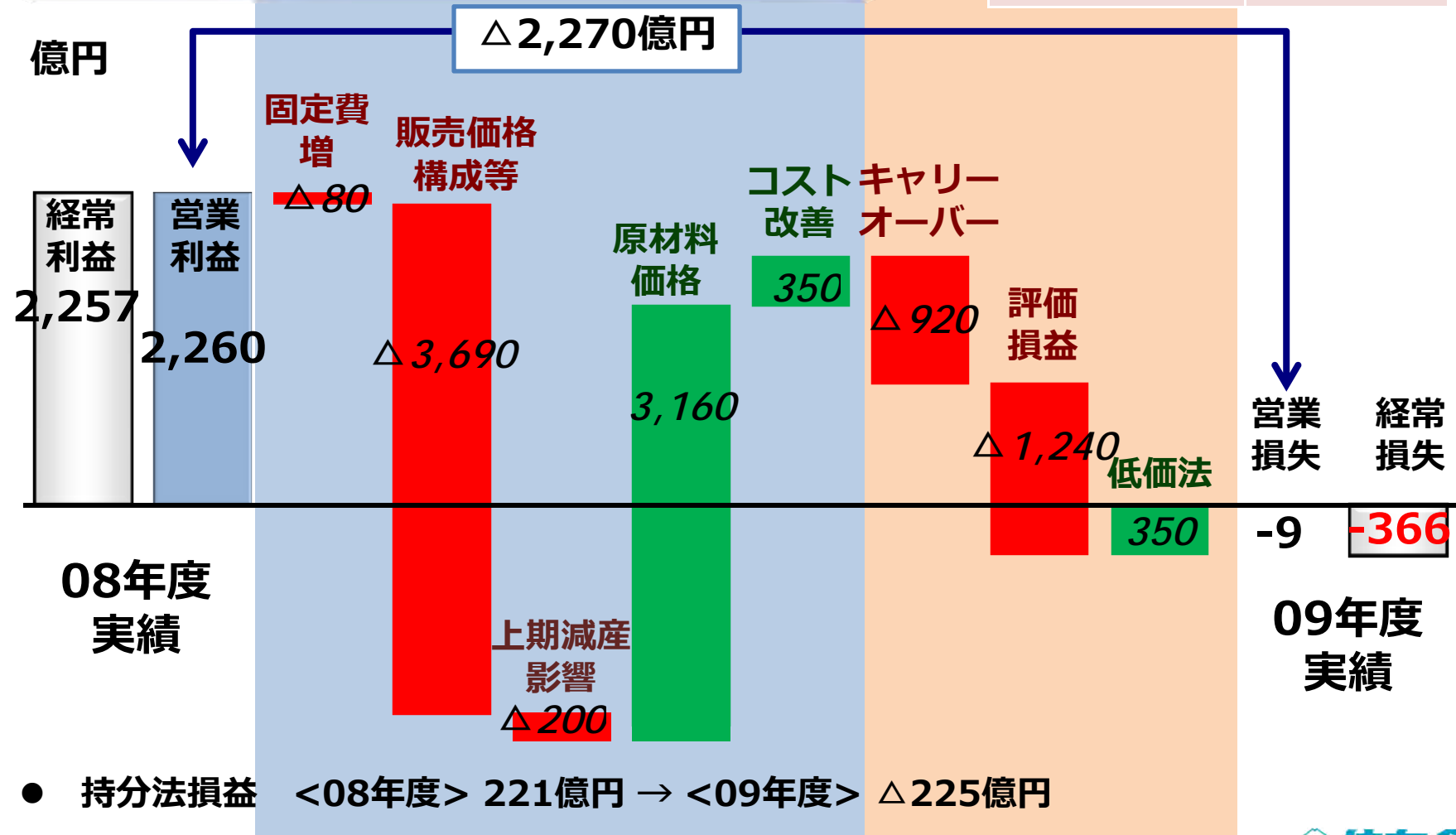
億円	08年度					[見通し]		09年度	増減	
		1Q	2Q	3Q	[見通し]	4Q	[見通し]		08→09	3Q→4Q
売上高	18,444	2,904	3,082	3,260	[3,652]	3,610	[12,900]	12,858	△5,585	350
営業利益	2,260	△345	63	△31	[311]	302	[0]	△ 9	△2,269	333
経常利益	2,257	△416	△59	△110	[136]	220	[△450]	△366	△2,623	330
特別損益	△312	-	△31	-	[-]	-	[△31]	△31	281	-
法人税等 少数株主損益	△971	92	△52	2	[△61]	△143	[△18]	△100	871	△145
当期純利益	973	△323	△143	△107	[74]	77	[△500]	△497	△1,470	185
1株当り 純利益(円)	20.98	△6.98	△3.09	△2.33	[1.61]	1.66	[△10.79]	△10.74	△31.72	3.99
EBITDA (億円)	3,359	△86	367	286	[671]	630	[1,240]	1,199	△2,160	343
為替レート (円/\$)	101	97	94	90	[90]	91	[93]	93	8円高	1円安

営業利益増減 (08年度→09年度)

上期の減産に加え、原材料価格の変動に伴うキャリーオーバー・評価損等の一過性要因大きく通期は営業赤字

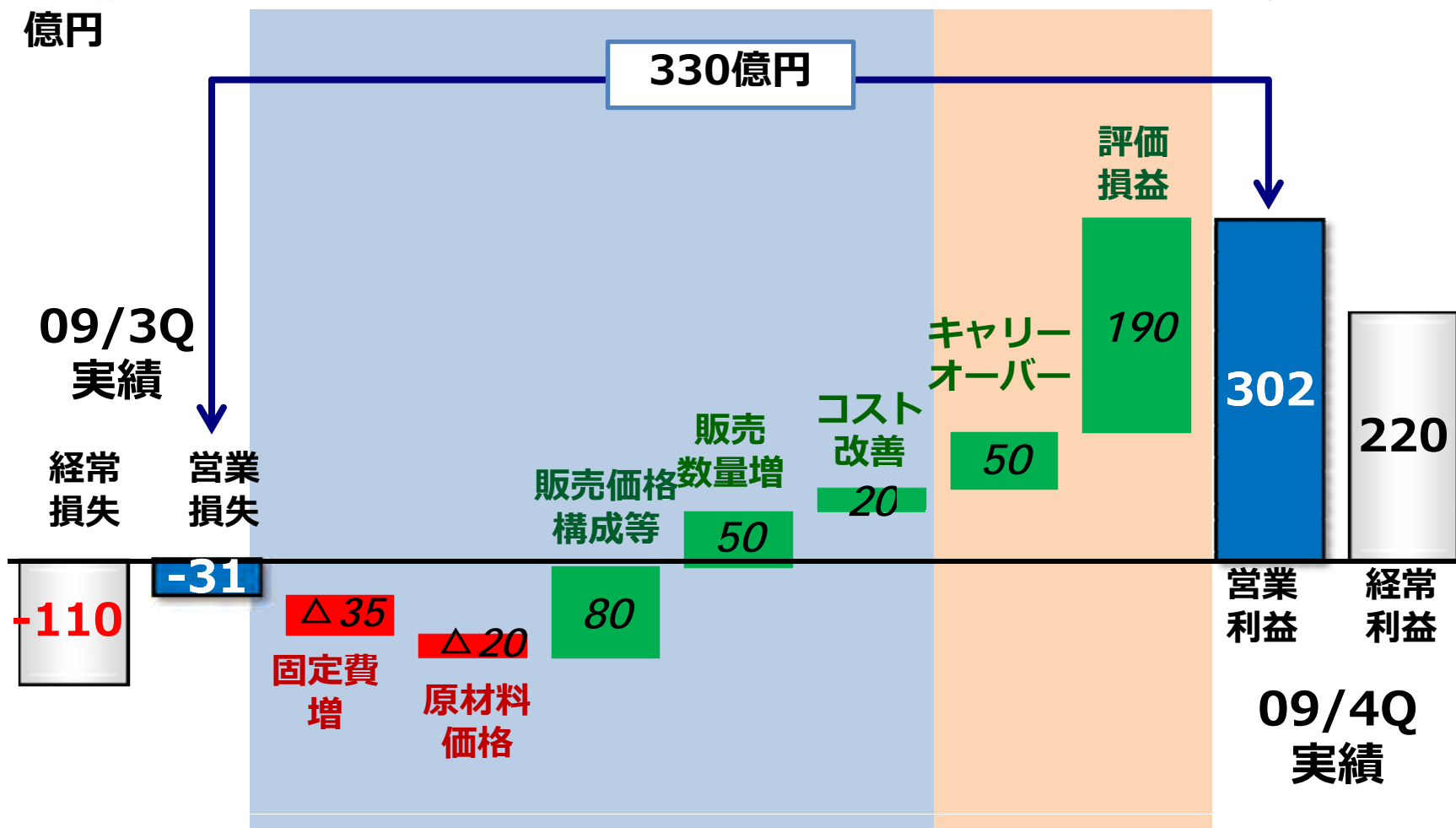
前回見通しからの営業損益変動要因

販売価格構成	10億円
販売数量等	△10億円
評価損益	△10億円



営業利益増減 (09/3Q→09/4Q)

販売量の回復、一過性要因の縮小により営業利益は300億円規模に回復



- 持分法損益 <09/3Q> △43億円 → <09/4Q> △64億円

セグメント・カンパニー別売上高等の状況

セグメント・カンパニー別売上高

※見通しは全て概数

億円	08年度					[見通し]	09年度	年度増減
		1Q	2Q	3Q	4Q			
鋼板・建材	7,001	989	1,244	1,338	1,413	[5,000]	4,985	△2,016
鋼管	7,169	1,228	1,078	1,130	1,291	[4,750]	4,729	△2,440
交通産機品	1,054	198	211	209	246	[850]	866	△188
住友金属小倉	1,480	207	207	288	312	[1,000]	1,016	△463
住友金属直江津 他	701	110	101	113	134	[500]	460	△240
鉄鋼セグメント計	17,407	2,733	2,843	3,081	3,399	[12,100]	12,058	△5,349
その他	1,036	171	238	178	211	[800]	799	△236
売上高計	18,444	2,904	3,082	3,260	3,610	[12,900]	12,858	△5,585

(参考) 鉄鋼セグメント主要カンパニー営業利益 (概数)

鋼板・建材	950	△330	190	△50	150	[0]	△40	△990
鋼管	鋼管	1,010	80	50	△30	60	[△50]	△850
	スラブ	60	△110	△60	△30	0		△200
住友金属小倉	20	0	△130	40	20	[△80]	△70	△90

鉄鋼セグメント計	2,308	△344	48	△53	272	[△50]	△76	△2,384
その他	△47	△1	14	22	29	[50]	66	114
営業利益計	2,260	△345	63	△31	302	[0]	△9	△2,269

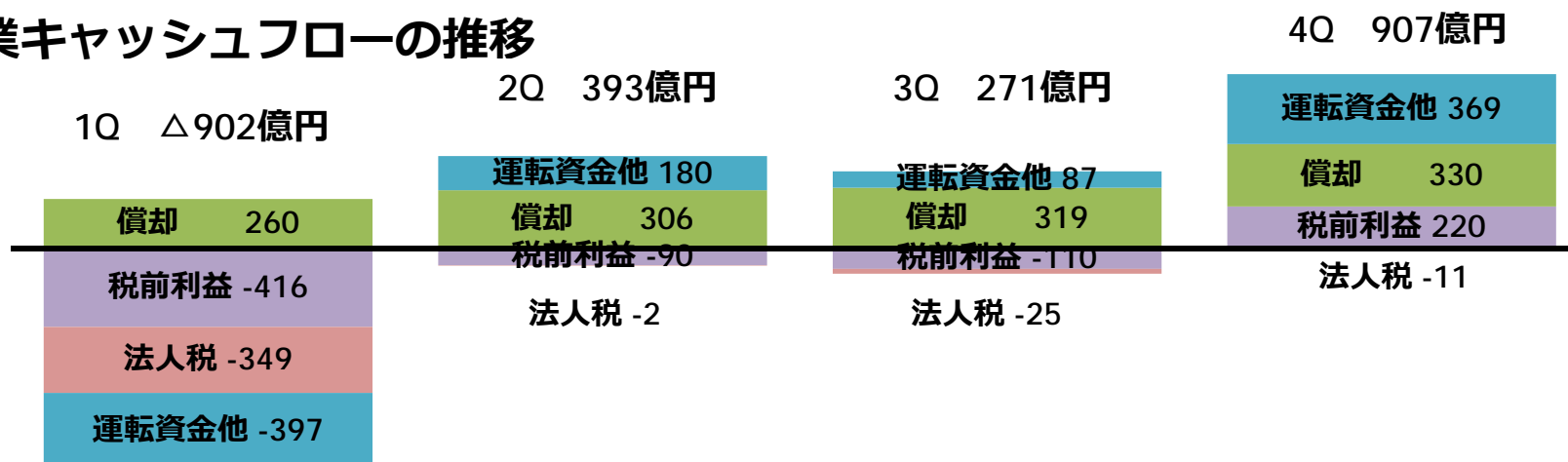
10/3E BS概況

10

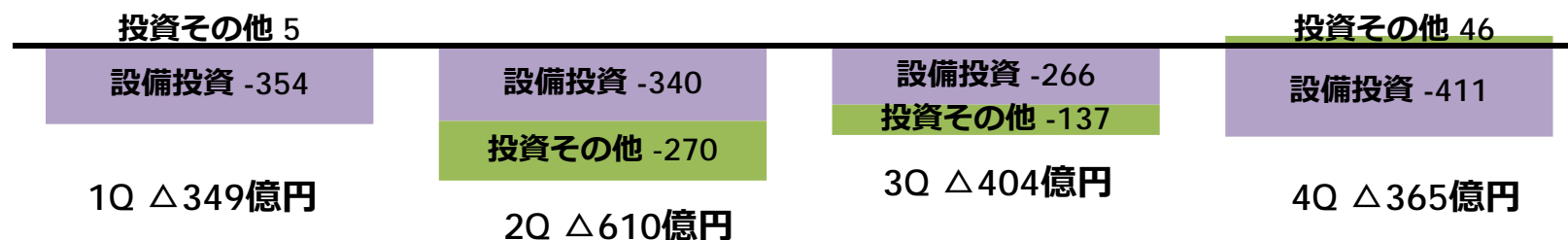
億円	09				10	%	09/3E 増減
	3E	6E	9E	12E	3E		
【資産】							
流動資産	7,373	6,921	6,394	6,529	6,064	△17.8	△1,309
固定資産	17,151	17,521	17,725	17,954	17,972	4.8	820
資産合計	24,525	24,442	24,120	24,483	24,036	△2.0	△488
【負債および純資産】							
流動負債	7,439	6,945	5,971	6,784	6,393	△14.1	△1,046
固定負債	8,041	8,584	9,408	9,119	8,851	10.1	809
純資産	9,043	8,912	8,740	8,579	8,792	△2.8	△251
借入残高	9,900	11,278	11,487	11,774	11,383	15.0	1,483

09年度 キャッシュフローの状況

営業キャッシュフローの推移



投資キャッシュフローの推移



	09/3E	09/6E	09/9E	09/12E	10/3E
借入金	9,900 億円	11,278 億円	11,487 億円	11,774 億円	11,383 億円
現預金	429 億円	381 億円	210 億円	226 億円	262 億円
ネット借入金	9,470 億円	10,896 億円	11,276 億円	11,547 億円	11,121 億円

10年度見通し

10年度 業績見通し概況

- 鉄鉱石・原料炭については、価格改訂の四半期化が不可避の情勢
- 顧客各位に、構造変化につきご説明し、鋼材価格改訂交渉を進行中
→ コストダウン等の改善努力を積み上げ、営業利益900億円を目指す。

※見通しは全て概数

億円					09年度	10年度 見通し	年度増減
	1Q	2Q	3Q	4Q			
営業利益	△345	63	△31	302	△9	900	910
経常利益	△416	△59	△110	220	△366	800	1,170
特別損益	-	△31	-	-	△31	-	30
当期純利益	△323	△143	△107	77	△497	500	1,000
1株当り 純利益(円)	△6.98	△3.09	△2.33	1.66	△10.74	10.79	21.53
為替レート (円/\$)	97	94	90	91	93	90	3円高
借入残高	11,278	11,487	11,774	11,383	11,383	11,000	△380
D/Eレシオ	1.39	1.39	1.46	1.37	1.37	1.29	△0.08

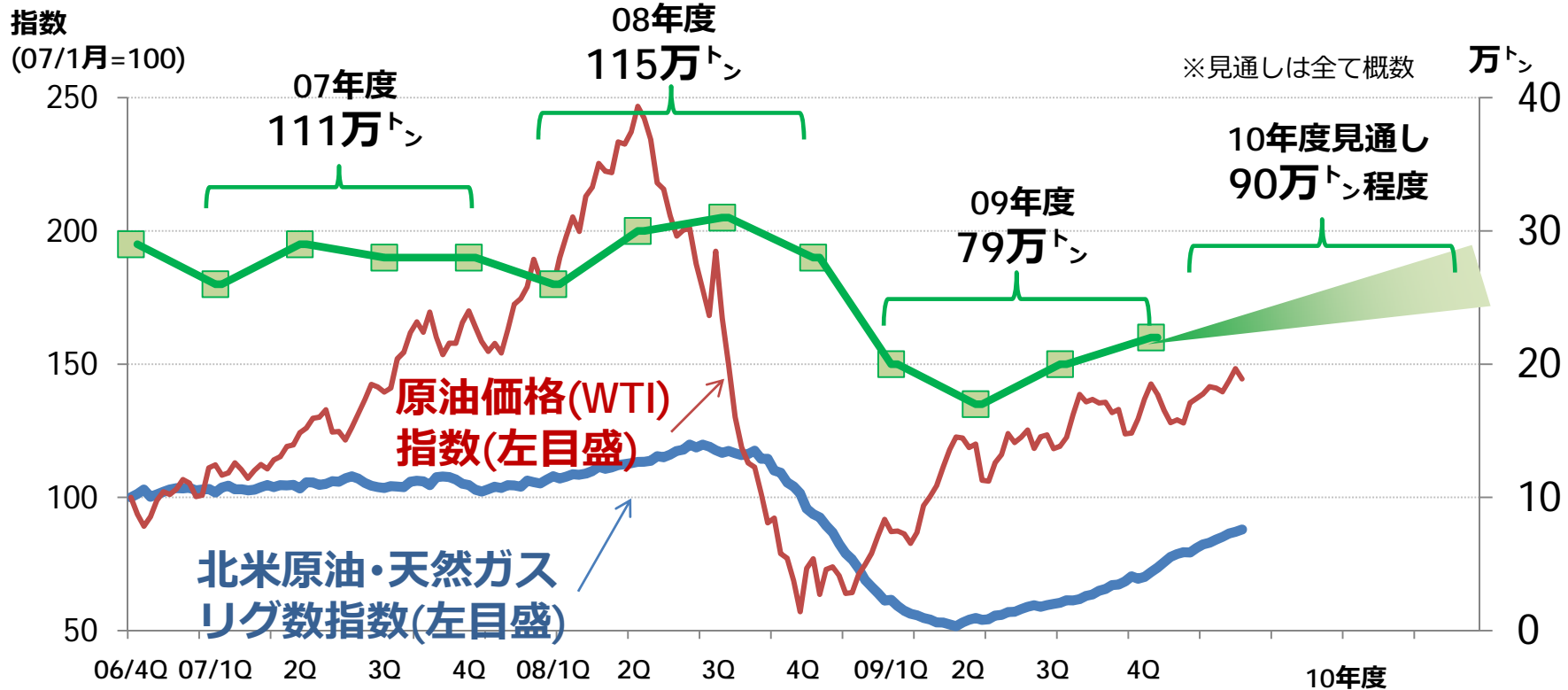
10年度 販売量等の見通し

- 内需は、上期の季節要因による減速はあるものの、概ね堅調な推移を予想
- 輸出はアジア向けを主体に好調を持続
- 遅れていたシームレスパイプも下期には回復に向かうと想定
→ 粗鋼生産量/鋼材販売量共、07年度のピークを更新する計画

※住金小倉、住金直江津、住金鋼鉄和歌山を含む
※見通しは全て概数

	下期			[見通し]	09年度	上期見通し	下期見通し	10年度見通し	年度増減
	3Q	4Q	下期						
粗鋼生産量 (万ト)	326	332	658	[1,170]	1,165	680	690	1,370	205
鋼材販売量 (万ト)	312	326	638	[1,093]	1,089	621	636	1,257	168
シームレスパイプ 販売量(万ト)	20	23	42	[78]	79			90	11
鋼材 平均 単価 (千円/ト)	国内	86.9	89.8	88.4	[93]	93.3	09年度 ドル受取超過 7億\$ 10年度為替前提 90円/\$		
	輸出	70.7	78.2	74.5	[82]	82.4			
	平均	79.0	84.3	81.7	[88]	88.0			

当社シームレスパイプ販売量の見通し



リグカウントの状況	08年平均	09年平均	最近のピーク	最近のボトム	直近
米国	1,879	1,089	<100> (08/9) 2,031	<43> (09/6) 876	<73> (10/4/16) 1,491
深井戸 (≥15,000ft)	283	249	<100> (08/10) 321	<66> (09/6) 211	<113> (10/3) 362
北米・露・中を除く世界	1,079	997	<100> (08/9) 1,108	<85> (09/8) 947	<97> (10/3) 1,074

出所: Baker Hughes, Smith international

利益配分に関する基本方針及び当期の配当予想

利益配分に関する基本方針

- 「質」と「規模」のバランスの取れた持続的成長を通じて企業価値を最大化
- 事業が生み出すキャッシュは、企業価値を高める投資に充当
- 投資戦略は以下を基準に実施し、その成果を株主の皆様還元
 - ▶ 差別化の加速に資する投資であること
 - ▶ 資本コストを上回る便益をあげて企業価値向上に貢献すること
- 配当は安定配当を基本とする

財務体質運営指針

- D/Eレシオで 1.0未満を目標として運営

当期（10/3月期）配当予想

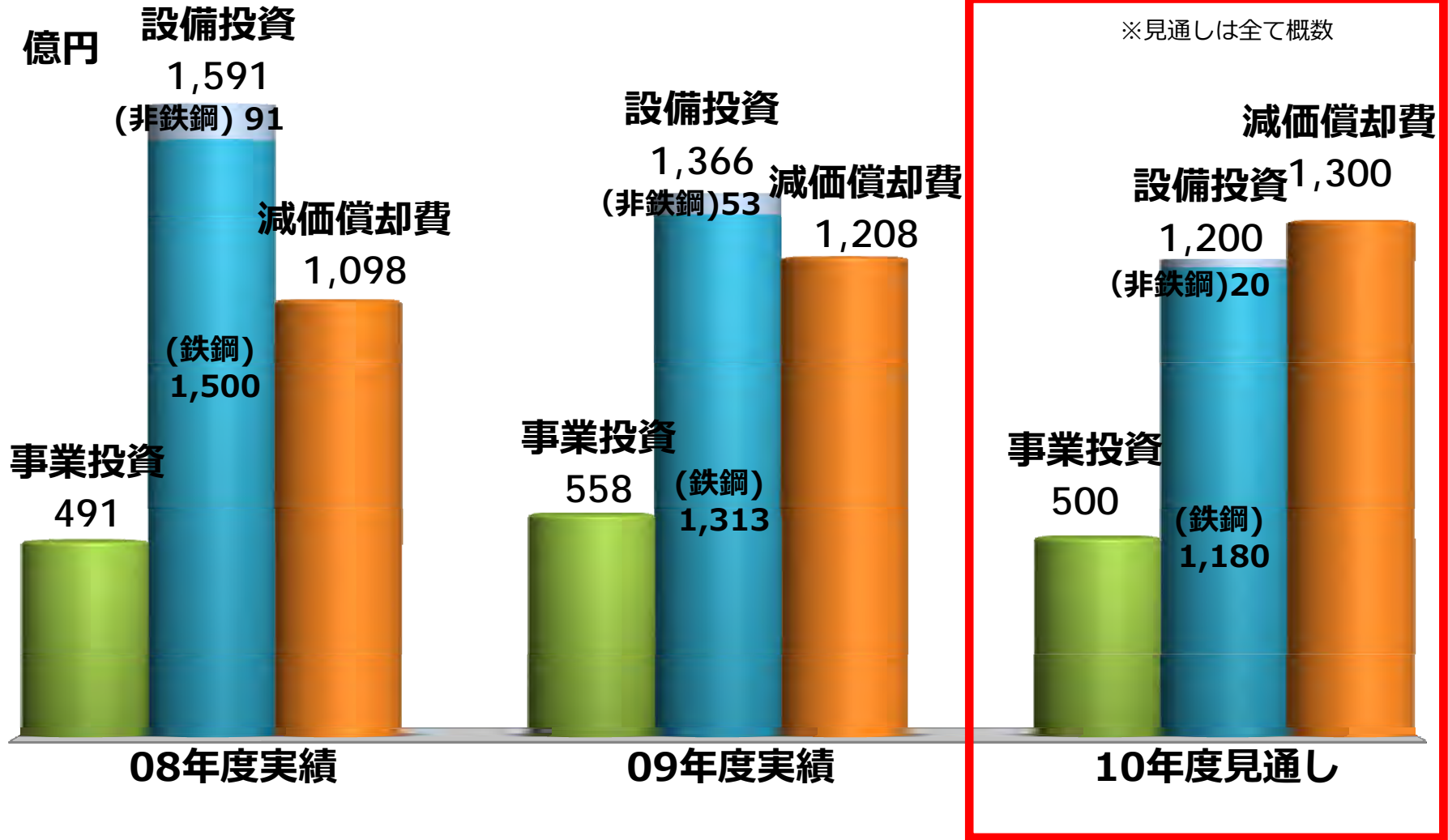
- 5円/株（中間配当 2.5円/株, 期末配当 2.5円/株）

次期（11/3月期）配当予想

- 5円/株（中間配当 2.5円/株, 期末配当 2.5円/株）

事業投資・設備投資・減価償却費の見通し

設備投資額は工事ベース
事業投資額は支払いベース



主要設備投資・事業投資の進捗

稼働予定年月で記載		投資額	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14
設備投資								
鋼管	和歌山上工程更新 新第1高炉+環境対応強化等 新第2高炉+CC増強等	1,600 億円 1,150 億円	→ 09/7					
	超高強度ラインパイプ増産	100 億円						→ 12/下期
	原子力発電用SG管増産	140 億円						→ 13/4
その他	住金小倉製鋼プロセス革新	270 億円						→ 10/10
事業投資 (*JVの場合の投資額はJV合計額)								
鋼板建材	ベトナム薄板JV (CSVC)	*1,150 億円						→ 12年
	インドブーシャン社 オリッサ PJ " 西ベンガル PJ	技術援助 FS中						→
鋼管	ブラジル高炉一貫シームレス(VSB)	*2,000 億円						→ 10年秋
	バローレックとの資本提携 シームレス特殊継手ネジ切り事業強化	113 億円 80 億円	● 09/2					→
交通産機	インドクランクシャフト合併	*10 億円						● 10/4

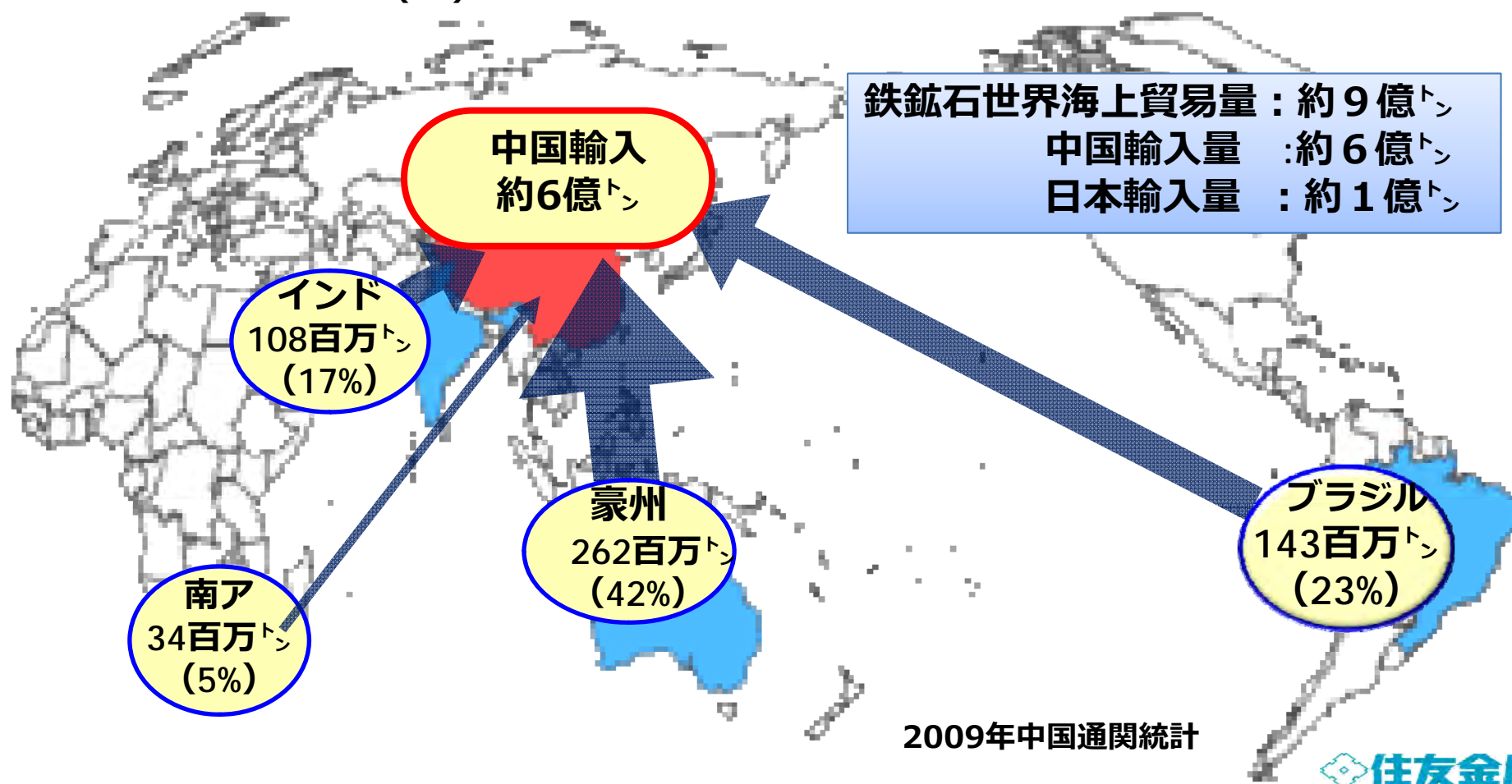
參考資料

鉄鉱石価格決定のインデックス方式（例）

中国着価格 <プラッツ Fe:62% (*1)> + VIU(*2) - 各ソース海上運賃
= 各ソースFOB価格

(*1) 中国北部（青島港）着価格

(*2) VIU : Value in Use（鉄分補正／使用評価）

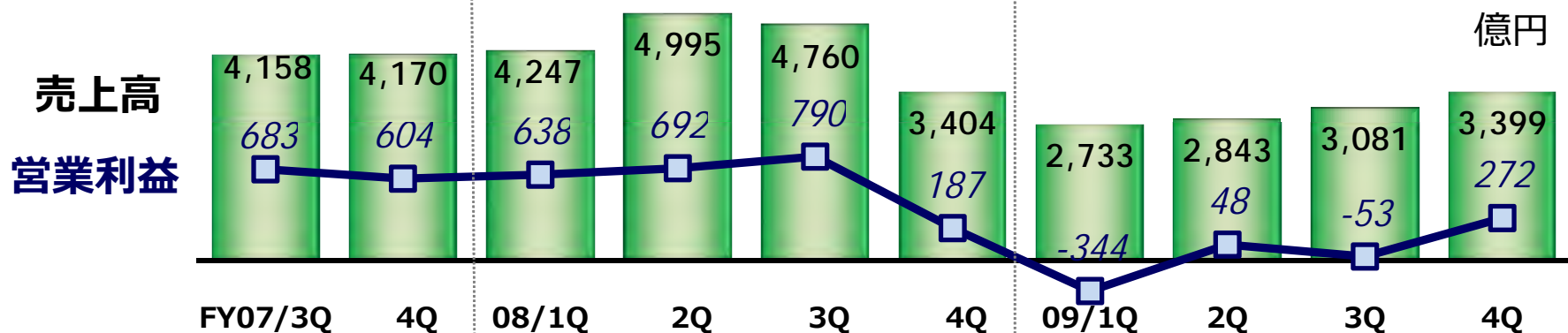


セグメント別売上高・営業利益 四半期別推移

億円	07/3Q	4Q	08/1Q	2Q	3Q	4Q	09/1Q	2Q	3Q	4Q
鉄鋼	4,158	4,170	4,247	4,995	4,760	3,404	2,733	2,843	3,081	3,399
エンジニアリング	32	50	21	30	23	41				
エレクトロニクス	169	143	159	136	95	62				
その他	109	133	93	128	132	110	171	238	178	211
連結売上高	4,469	4,498	4,522	5,290	5,012	3,618	2,904	3,082	3,260	3,610
鉄鋼	683	604	638	692	790	187	-344	48	-53	272
エンジニアリング	0	3	-1	-3	0	2				
エレクトロニクス	0	-2	1	-3	-9	-34				
その他	15	20	-16	0	9	7	-1	14	22	29
連結営業利益	699	627	621	686	790	162	-345	63	-31	302

鉄鋼セグメント

営業利益率 16% 15% 15% 14% 17% 5% -13% 2% -2% 8%

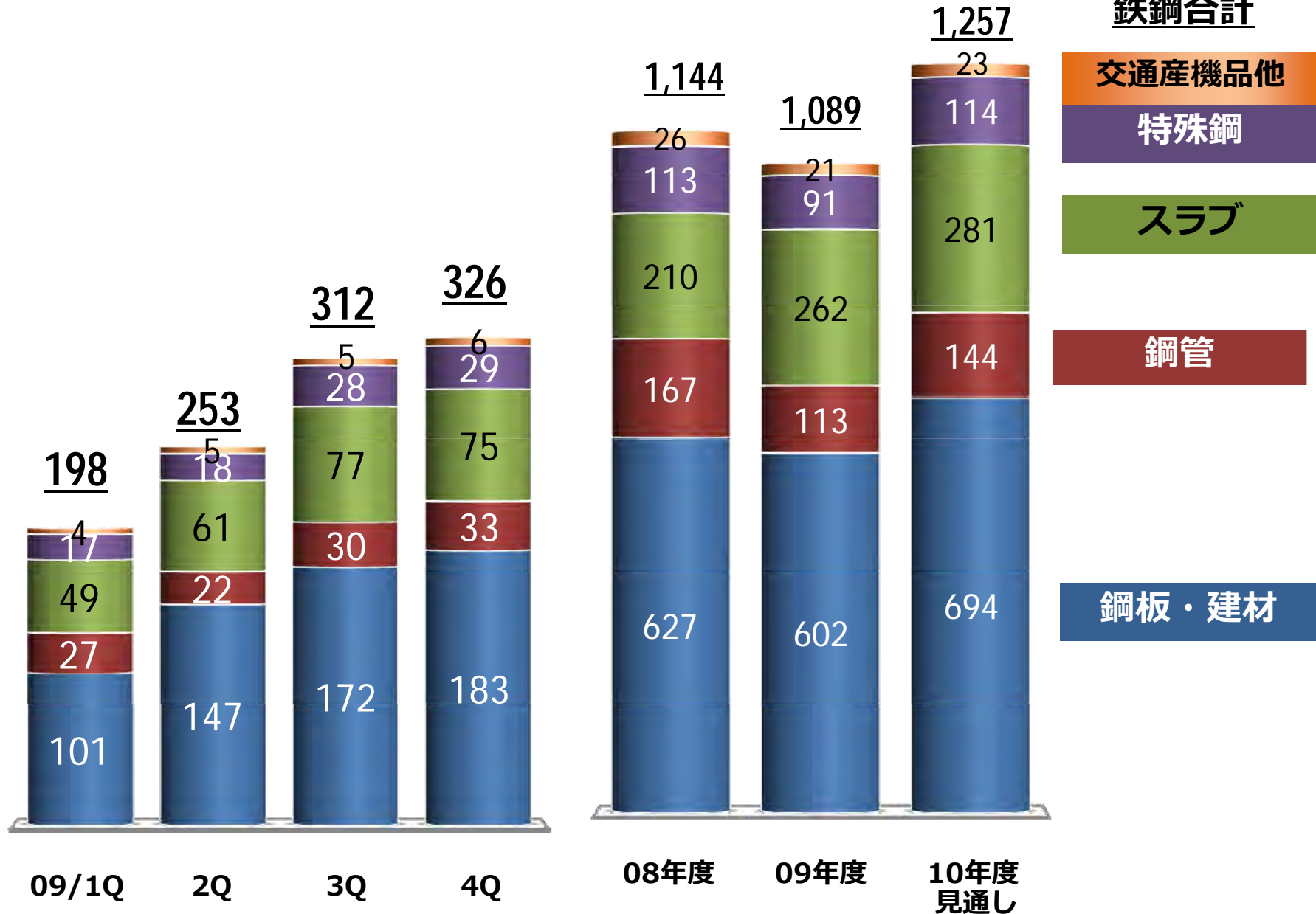


鋼材品種別販売量推移

万ト

※見通しは全て概数

鉄鋼合計



09年度 一過性要因

*全て10億円単位概数

億円								[見通し]	09年度	年度増減
	上期	下期	08年度	1Q	2Q	3Q	4Q			
キャリーオーバー	500	0	500	△290	△80	△50	0	[△420]	△420	△920
評価損益	610	△50	560	△530	△150	△160	△40	[△870]	△880	
原価差額調整計算	△180	60	△120	440	△110	△160	△90	[80]	80	
評価損益計	430	10	440	△90	△260	△320	△130	[△790]	△800	△1,240
期首戻し		30		200	450	270	160	[200]	200	
期末適用	△30	△200	△200	△450	△270	△160	△50	[△50]	△50	
棚卸簿価(低価法)	△30	△170	△200	△250	180	110	110	[150]	150	350
一過性要因計(概数)	900	△160	740	△630	△160	△260	△20	[△1,060]	△1,070	△1,810

09年度 単独決算概要

億円	08年度					〔見通し〕	09年度	年度増減
		1Q	2Q	3Q	4Q			
売上高	12,460	1,967	1,992	2,062	2,281	[8,200]	8,304	△4,155
営業利益	1,876	△208	249	△71	224	[200]	195	△1,680
経常利益	1,911	△173	225	△114	247	[100]	184	△1,726
特別損益	△362	-	△31	-	△188	[△31]	△219	142
法人税等 (含む調整額)	△641	92	△103	41	△92	[△18]	△61	580
当期 純利益	907	△80	90	△72	△33	[50]	△96	△1,003

09年度 特別損失の状況

億円	連 結				単 独			
	上期	下期		09年度	上期	下期		09年度
		3Q	4Q			3Q	4Q	
持分変動損失	^{*1} △ 15	-	-	△ 15	-	-	-	-
事業再編損	^{*2} △ 15	-	-	△ 15	^{*3} △ 10	-	-	△ 10
関係会社株式 評価損	-	-	-	-	^{*4} △ 21	-	^{*4} △ 188	△ 209
特別損失	△ 31	-	-	△ 31	△ 31	-	△ 188	△ 219

【連結】

*1 持分変動損失：電弧溶接ステンレス鋼管事業統合時の連結子会社株式のみなし売却損失

*2 事業再編損：(株)住友金属マイクロデバイス事業再編損失

【単独】

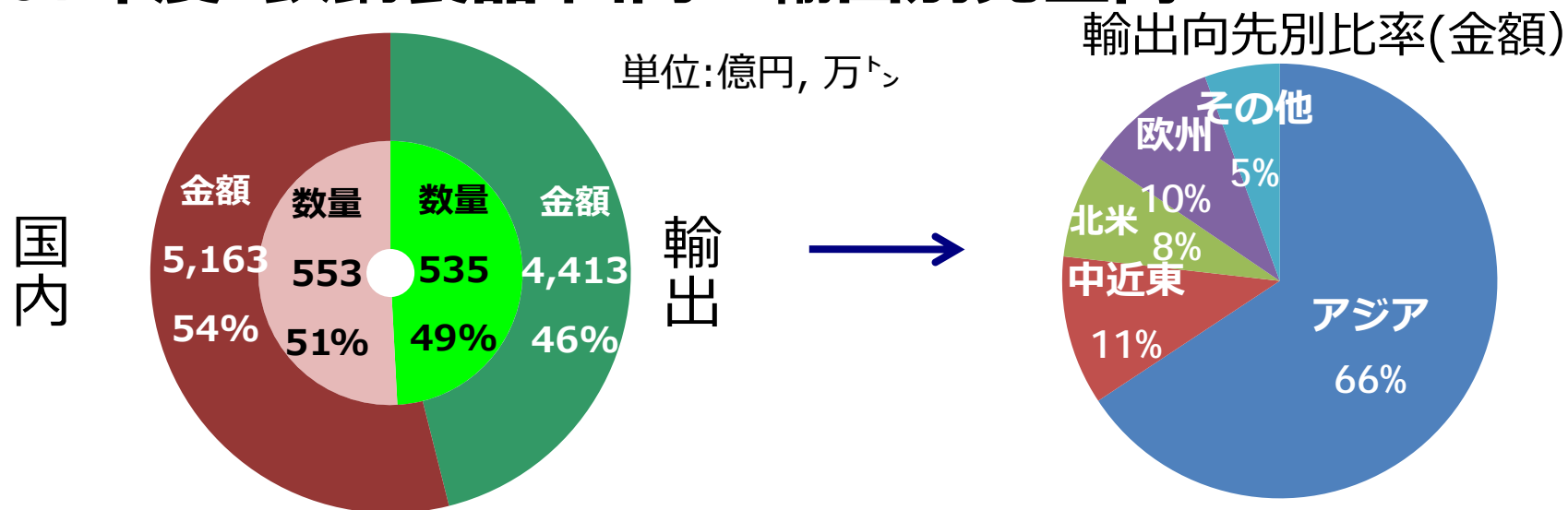
*3 事業再編損：(株)住友金属マイクロデバイス事業再編損失

*4 関係会社株式評価損

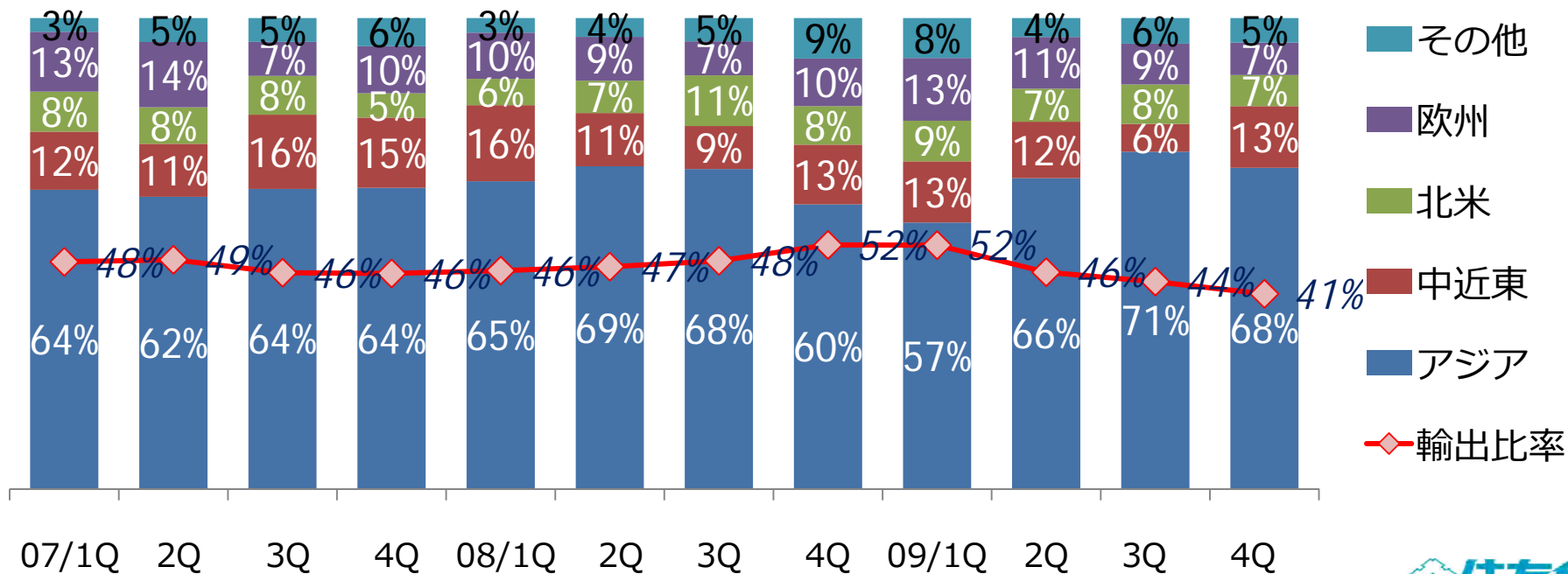
：上期 エレクトロニクス関係会社株式の評価損

：下期 東アジア連合鋼鐵(株)株式の評価損

09年度 鉄鋼製品 国内・輸出別売上高



鉄鋼製品輸出向先別比率(金額) の推移



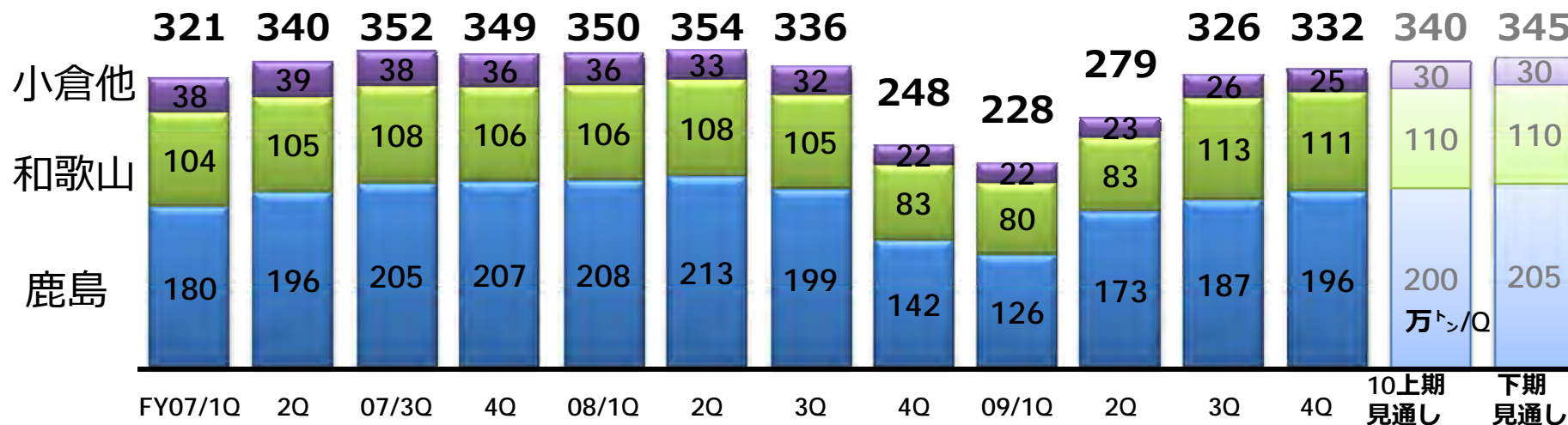
参考数値 (1)

※見通しは全て概数

27

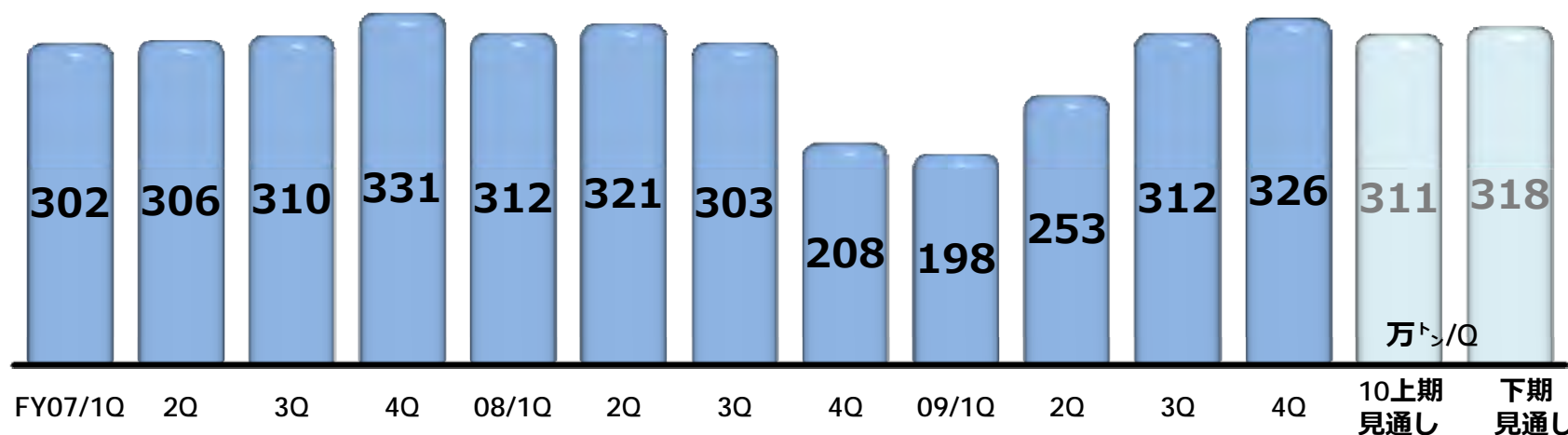
当社粗鋼生産量

万ト



当社鋼材販売量

万ト

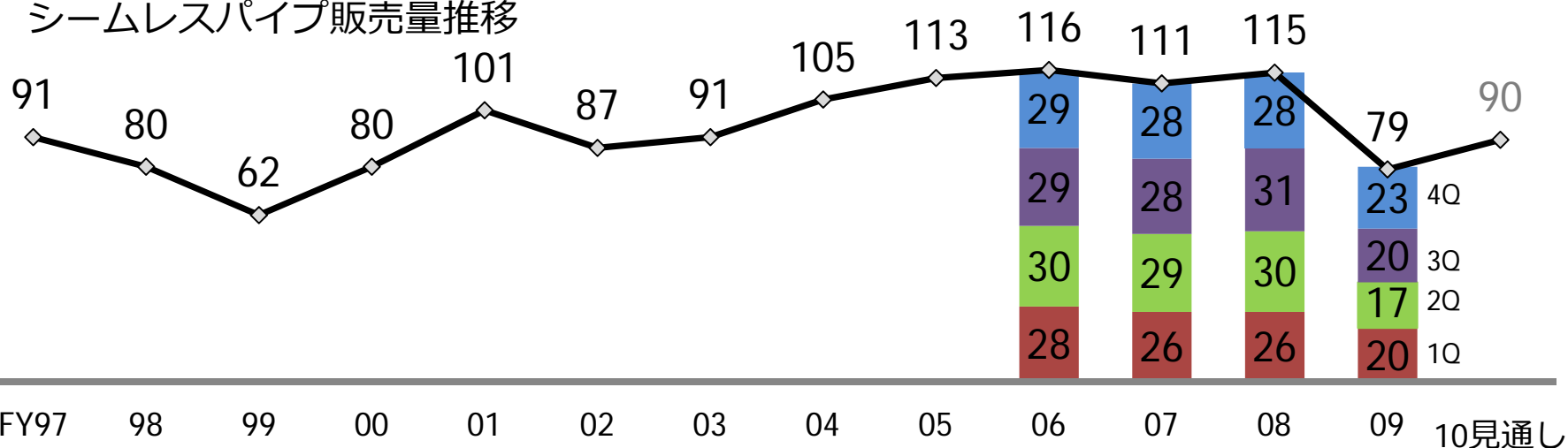


参考数値 (2)

シームレスパイプ販売量推移

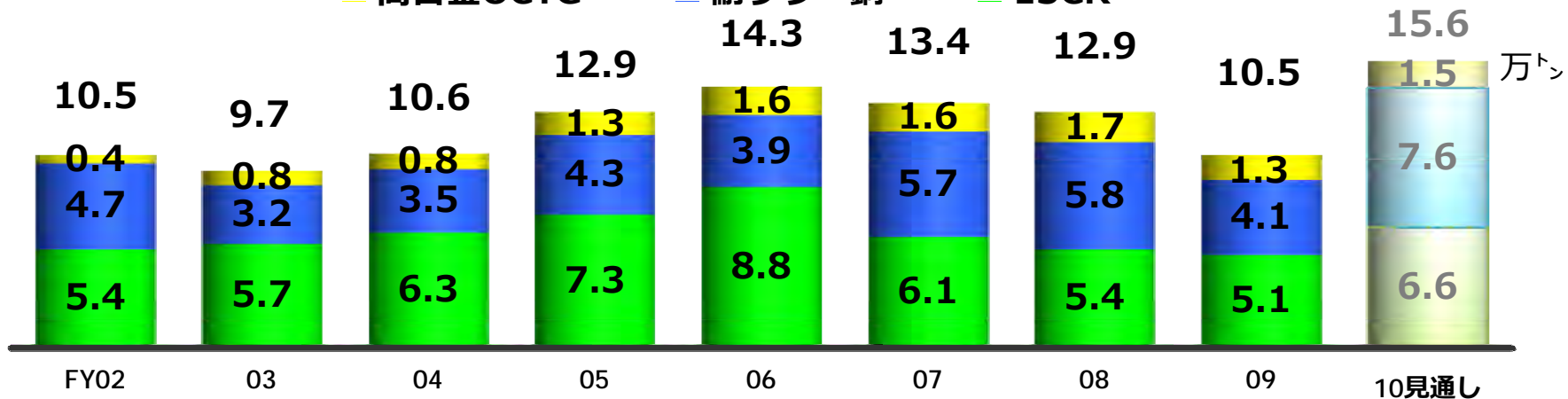
※見通しは全て概数

万トン



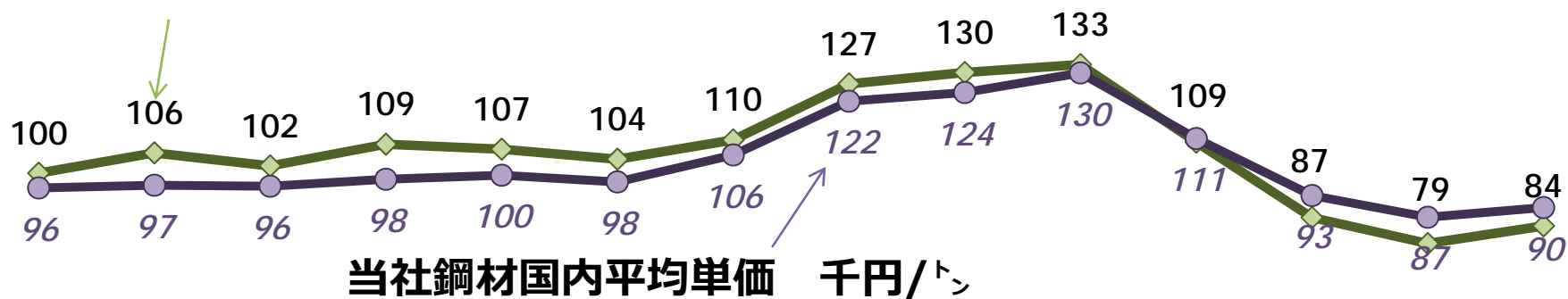
シームレスパイプ スーパーハイエンド品 販売量推移

■ 高合金OCTG ■ 耐サワー鋼 ■ 13CR



参考数値 (3)

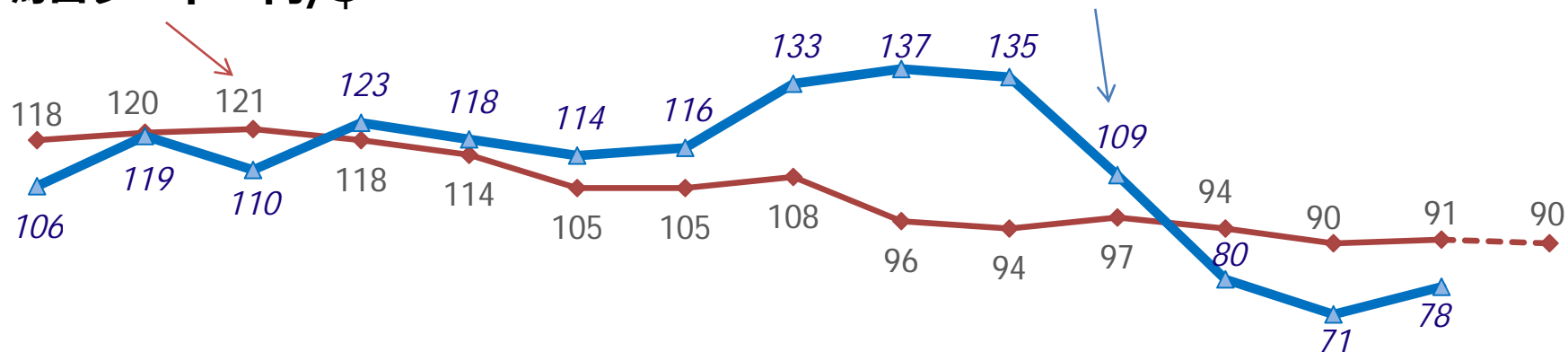
当社鋼材全平均単価



FY06/3Q 4Q 07/1Q 2Q 3Q 4Q 08/1Q 2Q 3Q 4Q 09/1Q 2Q 3Q 4Q

為替レート 円/\$

当社鋼材輸出平均単価 千円/トン



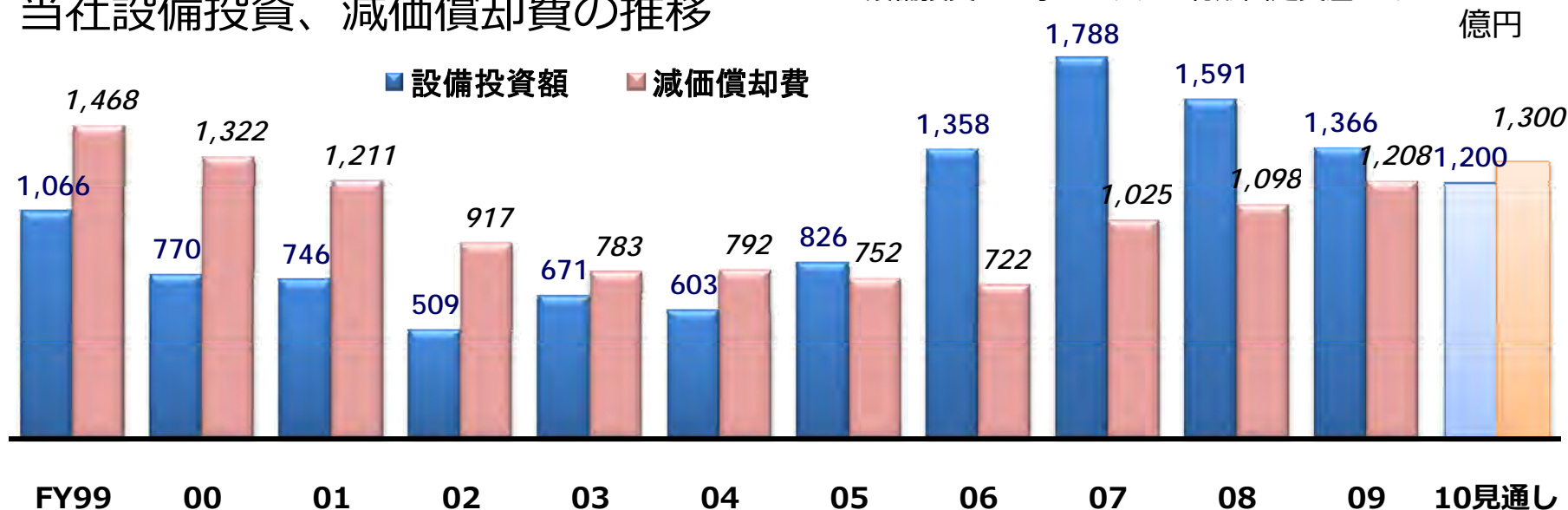
FY06/3Q 4Q 07/1Q 2Q 3Q 4Q 08/1Q 2Q 3Q 4Q 09/1Q 2Q 3Q 4Q 10前提

参考数値 (4)

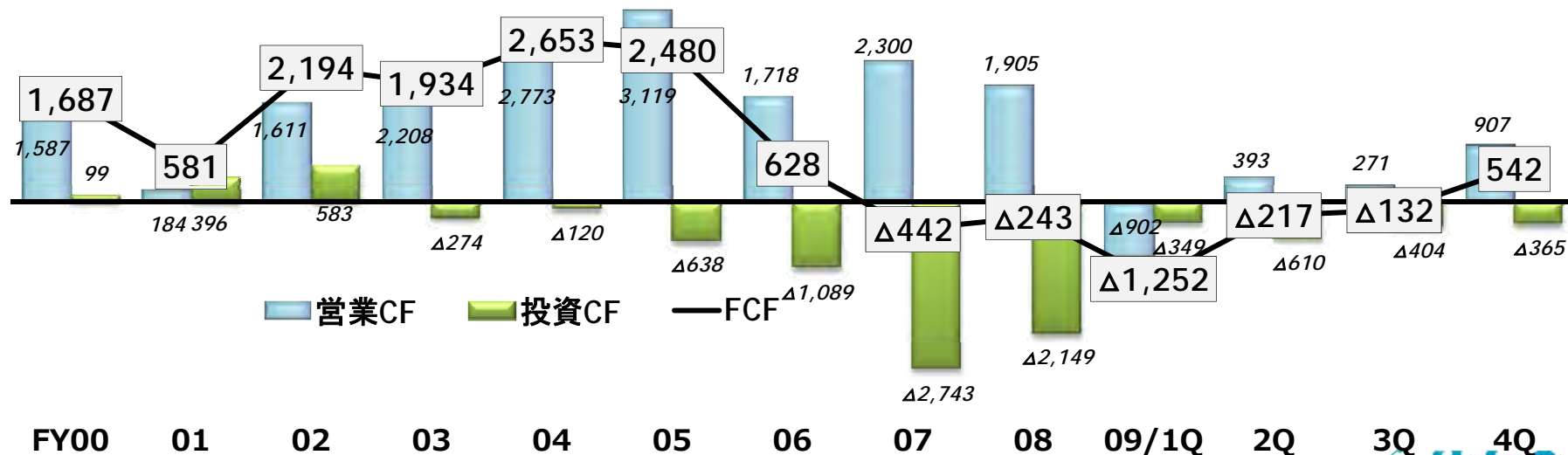
当社設備投資、減価償却費の推移

※見通しは全て概数

※設備投資は工事ベース *有形固定資産のみ



フリーキャッシュフローの推移



「質重視」による企業価値の
持続的向上を目指す



ステークホルダーの皆様から
信頼される会社へ